

令和元年度 第1回四万十町国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

日 時：令和元年5月30日（木） 18時03分～18時34分

場 所：四万十町役場 西庁舎3階防災対策室

出 席：船村委員、太田委員、伊賀委員、武田委員、澤田委員、瀬川委員

欠 席：筒井委員、牧野委員、菊池委員

事務局：本山町民課長、松田税務課長、

西岡町民課副課長、中川税務課主幹、岡崎町民課主査

傍聴者：0名

◆議事内容

(1) 開会

(2) 開会挨拶

(3) 委嘱式

(4) 議事録署名委員の指名（⇒武田委員、瀬川委員を指名）

(5) 国保運営協議会組織について（会長代理の選任）

(6) 平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算見込について

(7) その他

◆質疑等

(5) 国保運営協議会組織について（会長代理の選任）

【会 長】

議案第1号四万十町国保運営協議会組織について、昨年度まで國澤委員にお願いしておりました会長代理をどなたかにお願いすることになります。立候補等はありませんか。

立候補等なければ、伊賀委員にお願いしたいと思いますが、いかがですか。

【全委員】

異議なし。

【会 長】

それでは、伊賀委員様よろしく申し上げます。

(6) 平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算見込について

【会 長】

続きまして、議案第2号平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算見込について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

～町民課担当から「平成30年度四万十町国民健康保険事業特別会計決算見込」について説明～

【会 長】

事務局より説明がありました。これにつきまして質疑を行いたいと思います。質疑はありませんか。

【税務課長】

先ほど事務局がご説明した内容で、国保税収入の減少についてお話をさせていただきます。

まず、平成30年度の国保税の調定額が大幅に減少しており、平成29年度では調定額4億7,047万286円でしたが、平成30年度では4月末現在で、4億1,581万3,102円になる見込みとなっています。

これは、農業収入が落ち込んだことが原因とっております。また、被保険者数も年々減少

しており、これもかなり影響していると考えています。

【会 長】

他に何かありませんか。

【武田委員】

歳入の県支出金「県繰入金2号分」とはどのようなものなのか。

【事務局】

国保税の収納率向上、健康診断・特定健診の実施やジェネリック医薬品の普及促進等実績に応じて県から交付される交付金となっています。

【会 長】

これから先、四万十町としてはどうなのか。

【税務課長】

今後は歳入の方は、農業所得が多少は伸びてくると見込んでいます。歳出については、いつ大きな病気が広まるかもしれませんので、いつも減少していくとは思えません。基金残高が3億3,600万円くらいあるようなので、数年は国保税を上げなくて良いのかなという認識でいます。

【会 長】

他に質疑はありませんか。

【太田委員】

歳出がこのまま減り続けた場合、国保税は下がるのか。交付金が減少するだけで自分たちの負担が減っていくというわけではないのか。

【町民課長】

医療費に対して給付の比率は決まっていますので、必ずしもそうなるとは限りません。収支のバランスを見ながら、将来に備えることも必要であるかと思えます。

【税務課長】

健康増進事業等を実施して、目に見える効果が表れ、歳出が減少したということになれば歳入のバランスも考えないといけないと思います。

【会 長】

他に質疑はありませんか。

【全委員】

ありません。

(7) その他について

【会 長】

それでは、議案第3号その他について何かありませんか。

【太田委員】

この「国保だより」という冊子は、国保の加入者全員に配布しているのか。

【事務局】

全員ではなく、各保険者（市町村）に20部ほど国保連合会から配布がありますので、本庁、各地域振興局や国保運営協議会委員さんに配布しています。

【太田委員】

せっかく綺麗な写真も載っているので、町民全員に配布できたらいいと思う。

【税務課長】

そういう意見があったことを伝えておきます。

【会 長】

大月町ばかり載っているのか。

【澤田委員】

今回は大月町で、順番に回っている。

【会 長】

他にありませんか。

【全委員】

ありません。

【会 長】

それではこれで令和元年度第1回四万十町国民健康保険運営協議会を終了します。ご協力ありがとうございました。(18時34分散会)

署名人

武 田 丘 

署名人

瀬川 優子 